

令和八年 新年交礼会の開催模様

電友会北海道地方本部電電こぶし会の令和八年新年交礼会を、二月三日（火）午後五時三〇分からホテルポールスター札幌で開催しました。

当日は、来賓としてNTT東日本（株）北海道事業部をはじめNTTグループ企業各社の方々をお招きし、総勢六八名による盛大な懇親会となりました。

司会を務める山下裕子さんの進行により、伴会長の挨拶（別記二）、次いでNTT東日本（株）北海道事業部企画総務部長 小野 悠飛 様からNTTの事業動向、会員への謝辞等のご挨拶をいただきました。（別記二）

続いて、昨年八月の夏季懇親会以降当日までにご逝去されました五四名の物故会員に対して黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

次いで、今年傘寿を迎えられる会員のうち、当日ご出席の二名の方に記念品が贈呈されました。

その後、NTT労働組合退職者の会北海道支部協議会副会長 工藤 和男 様のご発声で懇親会の開宴となりました。（別記三）

しばし歓談の後はアトラクションの部、最初に平井美昭さんのカラオケで、一九六〇年代に大ヒットした飯田久彦の「ルイジアナ・ママ」を軽快に歌っていただきました。

続いて、いつも会場を盛り上げていただいている、斎藤宏二郎さんの歌唱と、内海英子さんによる舞踊、二人の巨匠の夢の競演がこの日、実現しました。曲は島津亜矢の「流れて津軽」、情念の叫びのような激しく掻き鳴らす三味線の音、そんな曲の世界観をお二人が見事に演じられました

この後、再び内海さんによる、水森かおりの「大阪恋しずく」、先程とは曲調の違う曲を情感込めて舞っていただきました。

最後にお楽しみ抽選会、各賞とホテルポールスター札幌様ご提供の特別賞、全一本の争奪戦が繰り広げられました。見事、一等を見事射止めたのは、総合司会を務めた、山下裕子さんでした。

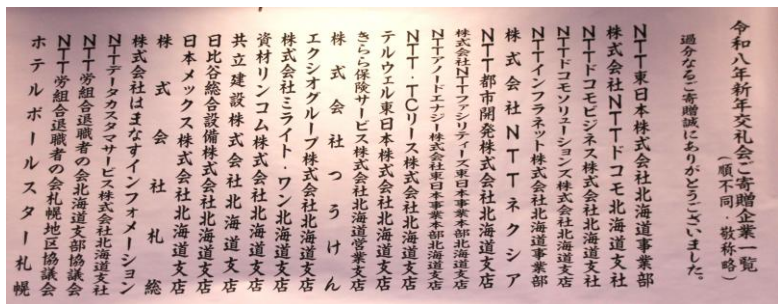
アトラクション後も歓談が続ぎ、盛り上がりの中、今年の年男でこぶし会の理事を務めていただいている、米坂純一様のご発声で終宴となりました。

（別記四）
今回も会話が弾み、またアトラクシ

ョンは役者揃いで、またいつもと違った趣向で、楽しい祝宴となりました。
ご臨席下さいました来賓の皆様、ご寄贈を賜りました各企業・団体の皆様、ご出席の会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

そしてボランティアで協力いただいたスタッフの皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。







歓談の模様 6



歓談の模様 5



「流れて津軽」を熱唱する斎藤宏二郎さんと
内海英子さんの華麗な舞



「ルイジアナ・ママ」を熱唱する平井美昭さん



アンコールに応えて「大阪恋しずく」



会場を盛り上げてくれた 斎藤師匠



見事一等をゲット！山下裕子さん



抽選会の模様

(別記一)

◎電電「ぶし会」伴会長 挨拶



皆様、ようこそお出でをいただきました。

今日は節分ですが、「新年交礼会」ですので、改めまして、明けましておめでとうございます。

昨年の、「新年交礼会」の挨拶のときに、「いやあ、今年も、ちよつと雪が少なくて」という話をしたのですが、今年はとんでもない大雪で、なんでも二〇年ぶりぐらいだそうです。まだまだ、ＪＲ、バス、正常には戻っていないようです。

でも、二月になりましたので、お正月気分というのも抜けて、皆様には普段の生活やお仕事に戻られているときだと思います。

今日は、御来賓として東日本北海道から各部長、グループ各社の社長、支店長、ほか幹部の皆さん、また、ＮＴＴ労働組合退職者の会から、北海道支部協議会の副会長、札幌地区協議会の会長にも出席いただいております。皆様、大変お忙しいところお出でいただきました。重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございます。

年末から今年にかけて、国内もそうですし、海外もそうですが、いろいろなことが動いて

きて、この後どういうふうな方向になってしまふのかなというふうなこともあります。私どもＯＢにとって、どうも一年経つのが最近早くなってきたなというふうな感じがしています。皆さんいかがでしょうかね。

いろいろなことが、次々にあるということもあります。情報通信の世界でも、どんどん新しい時代に、これはもう本当にハイスピードで変わってきておりますし、私らの時代の電報電話なんていうのはどこへ行ってしまったのかと。若い方々、Ｘ世代とかもうアルファ世代というふうに言われていますが、「うちには電話はありません」、「知らない人から電話がかかってきても、怖くて出られない」とかですね、通信の世界も変わってきています。

この会で、東日本北海道の幹部の方からも話を聞きますが、ＡＩの時代になってきて、生成ＡＩが自分たちの考えていることを作ってくれる。文章や図なども作ってくれる、新しい考え方も出してくれる、というようなことです。「でも、ＡＩ間違っていたらどうするの」と誰かに質問したら、「いや、ＡＩが合っているかどうかを答えてくれるＡＩがあるのだよ」と、どういうふうなことになっていくのでしょうか。

ＮＴＴの、情報力、技術力でＮＴＴもＡＩを作るといような話も伺っています。北海

道にデータベースセンターができ上がるといようなことだそうで、大変楽しみにしているところです。

一方、我々のこぶし会の活動ですが、こういった動きを楽しみにしながらも、元気に明るく、楽しみながら、また、社会貢献もさせてもらっています。昨年も北海道から２件、本部にボランティア活動賞を推薦し受賞いたしました。

一つは、「ボランティアサークル ユーネット」で、サークルの幹事で、ＮＴＴ病院の看護師さんのＯＧであります菊池由佳子さんが代表して受賞されました。

もう一件は、皆さん、ここでおなじみであります、「坂野吉則さん」が五〇年もの永きに亘り、青少年へのスキーマの指導を続けていらつしやいます。この二人が表彰されています。その他にも多くの会員の方々が、町内活動や社会貢献活動をやっております。そういったことをこぶし会としても応援させていただきたいと思っております。

正月も含めてのこういう交礼会でございます。今日は、皆さんでお話をし、楽しんでいただき、短い時間過ごしていただければと思います。今年一年、雪は多いですが、いい年になりますように、そして皆さんとともに楽しんでいきたいと思っております。

本日はお忙しいところ、お出でをいただき

ました。重ねて御礼を申し上げます。

どうもありがとうございました。(拍手)

(別記二)

◎NTT東日本株式会社北海道事業部

小野企画総務部長 挨拶



本日は、ごぶし会の新年交礼会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

本来であれば、北海道事業部長の茂谷がここで御挨拶をさせていただきますたいところですが、本日、ちよつと首都圏でイベントがございまして、そちらに出席をしております、私が僭越ながら代理で一言御挨拶をさせていただければと思います。

伴会長のように入場慣れしておりませんので、舞い上がって飛ばないように、AIで文章を作ってきました。今日は、ちよつとこれをちらちら見ながら、御挨拶をさせていただきますと思います。よろしく申し上げます。

まず初めに、私の自己紹介から簡単にさせていただきますたいのですが、私、七月に北海道事業部の企画総務部長として着任をさせていただきまして、先ほど、電話のお話を伴会長からもされていましたが、私、入社したのが二〇〇〇年です。就職活動したの

は、東日本移行本部、まだ東日本会社ができていないとき、東日本移行本部というところで就職活動させていただいて、内定をいただき入社したときにはNTT東日本の社名になっておりましたので、東日本一期生と言っているのですかね。

その後、いろいろあって、採用が三年間止まっておりましたので、私、仙台で初期配属だったのですけども四年間新入社員をやらせていただきました。

仙台出身、生まれと育ちは仙台なのですが、けれども、北海道は仙台の冬とは全然スケールが違いますね、さっき伴会長がおっしゃっていたとおりですね、雪がすごくてびっくりしています。

今週の日曜日、札幌市のボランティア協会さんにちよつと応募して、雪かきのボランティア活動を行ってきました。厚別に行ってきたのですが、せっかく雪かきしても既にもう山なりになっていて捨てるところがなくて、「ここに積み上げてください」って一人暮らしの方に言われたのですが、積み上がりません。なかなか厳しいなと思っていました。せっかく汗かいて頑張ったのだけど、また土日で雪が降ってしまった、今どうなっているのだろうなとすごく心配しているところです。

昨年の振り返りからまずさせていただきます

ますと、昨年度(二〇二四年度)は、NTT東日本に六事業部があるのですけども、連結利益で北海道は一位を達成することができました。今年度もまだあと二月、三月とありますけども、何とか連覇を狙えるような状況になっております。まだ社員向けにはあまり堂々と言えないのですけれど、これもひとえにOBの皆様方、それから、グループ会社の皆様方、協力会社の皆様方の御協力あつてのことだと思っております。改めて御礼申し上げます。

今年度は、自治体ですとか、地域、企業の皆様とともに、プロジェクトが大きく前進しております、学校のICT化とか、医療、防災の情報基盤づくりとか、様々な取り組みをさせていただきました。

一方で、御案内のとおりかと思っておりますけども、昨年の暮れ、道東、釧路ですとか北見ですとかあの辺りで、引き込み線に着雪があつて、その影響による故障が多発しまして、これはもう釧路地域、北見地域だけでは全然修理ができなかつたので、道東だけではなくて、道内から、あるいは、東京も含めて首都圏ですとか長野とか信越とか、東北はもちろん、その地域のバケット車をみんな引っ張ってきてくれて、社員も含めて対応していただきました。

さらにですね、もちろん全国各地の通建各

社様からの多大なる御支援ですとか、コムシスJ-V様、エクシオグループ様の御支援を賜りました。つうけんの釧路拠点で、いろんな全国各地のナンバーのバケット車が集結している絵を見ると、すごく壮観でして、こう言ってしまうと語弊があるのですけども、まさに通信を支える会社ということで、日本を支える会社、皆さんとともに運営しているんだなということを感じたところがございます。改めてそんなふうに乗れ越えられたことにつきまして、厚く御礼申し上げますと思います。本当にありがとうございます。

さて、事業の未来についてですけども、NTT-ME社で、石狩で新たにデータセンターを、立ち上げようとしています。伴会長からも先ほどお話ありましたけども、何かいろいろ中国とかロシアとか、最近、経済安全保障という言葉が言われておりますが、北海道って、実は、中国とかロシアを通らずに、北極海ルートで欧米と繋がるルートの結節点になります。そこから日本縦断をして、東南アジアとか、あるいは南半球とかに抜ける、そういったネットワークの起点になるポテンシャルを持っているということでございます。近頃、IOWNと言っていますけども、そういったものを活用しながら、日本のデータセンター、東京だけではなくて、北海

道に持ってきて北海道から世界につながるような、そんなビジネスを皆様と今年二〇二六年に、展開していけたらいいなと思っております。

最後になります。二〇二六年も社員の成長、それから働きやすい環境づくりをどうすればできるのだろうかということを考えながら、頑張つてまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

本年も変わらぬ御指導、御鞭撻いただければ幸いです。

本日はありがとうございます。(拍手)

(別記三)

◎NTT労働組合退職者の会

北海道支部協議会

工藤副会長 開宴のことば



ちょっとだけお時間をいただきましたと思いますので、申し訳ございません。ただいま御紹介をいただきました。NTT労働退職者の会北海道支部協議会の副会長を仰せつかっております工藤と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

何はともあれ、新しい年を迎えて結構たちましたけれども、こぶし会の新年会が、この

ように、皆さんお元気で、多くの皆さんがお集まりになって開催されましたことを心よりお喜びを申し上げます、このように思います。

皆さん、孤立、孤独化されていませんか。私も七〇歳を超えましたけれども、どうでしょう、皆さん繋がっていらっしゃいますか。これ、大事だというふうに思います。自分のペースで、好きなことを、そして、やりたいことを、地域のコミュニティーや皆さんの御趣味、そして、元一緒に働いていた仲間と、楽しく通じ合つて、そして、ときめきを感じながら老いていく。諸先輩方がいる中で、大変僥越でございますが、ここが一番私は大事なように思います。いろいろな方と繋がって、そして、ときめきを感じる。こういうことだろうというふうに思います。そこに、こぶし会や退職者の会をぜひとも御利用いただいで、長く、そして楽しく生きていただければと思います。

それでは、杯を上げさせていただきます。それでは、こぶし会のますますの発展、そして、本日御参会の皆様の御健勝と御健康を心よりお祈りいたしまして、乾杯をいたします。乾杯。

ありがとうございました。(拍手)

(別記四)

◎米坂純一様 閉宴のことは



御紹介いただきました
米坂でございます。

年齢を伏せてって話が

ありましたけれども、年

男でありましたので御指

名をいただきました。七十二歳の年男ではありません。ません。一周り上の八四歳の年男であります。人生百年なものですから、あと一六年あります。これからは、その一六年間で青春を謳歌したいと思っております。(拍手)ありがとうございます。また、一二年後の午(うま)年にもこの壇上で皆様方と顔を合わせたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(拍手)

ありがとうございます。

それでは最後に、こぶし会のみすますの御発展と、皆様方の御健勝を祈念いたしまして乾杯をしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

皆様方、御準備よろしいでしょうか。

それでは、乾杯。

ありがとうございました。(拍手)